

清水建設は大地震の災害発生時に復旧活動の拠点となる機能を備えた社員寮を建設した。通常は40人が入居する独身寮だが、災害時には300人を集め、被災企業のビル復旧を支援する。寮には非常食を備蓄、建物も免震構造を採用し、防火シャッターも備えている。老朽化した社宅の建て替えを検討する企業への提案営業も開始する。

社員寮を防災拠点に

清水建設



地下倉庫に移動用自転車や非常食などを備蓄 (東京都文京区の清水建設白田寮)

免震構造採用、非常食も備え

事などを避け、顧客の動きを妨げられるように、約10億円を投じて老朽化していた独身寮を防災拠点にする建物を建て替えた。

災害時、企業の復旧支援

東京都内に建てた独身寮は非常時には井口水をくみ上げて、トイレやシャワーが使えるようにした。地下倉庫にパンクレスタイヤの自転車をそろえ、飲料水や食糧の備蓄などの準備も年内に完了させる予定。

清水建設は自社の事例を踏まえて、災害復旧の拠点となる機能を備えた社宅の整備を事業継続計画に盛り込むように顧客に提案する。今後1年間に10件程度を提案し、初年度に初受注を目指す。